



出水小学校 学校だより

そったく き  
啐啄の機 R7 No. 16

令和8年1月13日(火)

熊本市立出水小学校

校長：横山 幸生

### 3学期始業式 「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」

3学期がスタートしました。冬季休業期間には特に大きな事故等の報告もなく、みんな元気に3学期を迎えることができ大変うれしく思っております。これもそれぞれのご家庭、地域の皆様が子どもたちをしっかりと見守ってくださったおかげだと思います。心より感謝申し上げます。

3学期の始業式には次のような話をしました。

今から2500年ほど昔、日本の隣の国、中国に孔子というえらい学者さんがいました。多いときには3000人ぐらいお弟子さんがいたほどです。この孔子がお弟子さんに話をしたことをまとめた「論語」という本は今でも世界中で読まれています。図書室にもありますから読んでみてください。

ある時弟子の一人が孔子にこう尋ねました。「人が生きていくうえで、一番大切なことは何ですか」と。これに対して先生である孔子はこう答えます。「それは恕の心であろう。」と。「恕」とは「思いやりの心」のことです。

さらに弟子は尋ねます。「ただ『思いやりの心』ではよく分かりません。具体的にどうすればいいのでしょうか。」と。すると孔子はこう答えます。「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」と。これは「自分がして欲しくないことは、他の人にもしてはいけない」という意味です。

孔子は、人が生きていく上で一番大切なことは「思いやりの心」であり、思いやりのある行動とは、「自分がして欲しくないことは、他の人にもしないことである」と言ったのです。この言葉は、2500年も昔からずっと生き続けています。それどころか現代では増々大切になってきていると思います。

「自分がして欲しくないことは、他の人にもしてはいけない」を言い換えると「自分がしてもらってうれしいことは、他の人にもしていきましょう」ということになります。出水小学校のみんながこの「自分がして欲しくないことは、他の人にもしない」「自分がしてもらってうれしいことは、他の人にもしていきましょう」を実行することができたら、きっとみんなが幸せな学校になると思います。

では、「自分がしてもらってうれしいこと」ってどんなことでしょうか。例えば、悲しいときに声をかけてもらったり、「一緒に遊ぼう」と誘ってもらったり、勉強が分からないところを教えてもらったり、荷物を持つのを手伝ってもらったりなど、こんなことをしてもらってうれしい気持ちになりますよね。他にもまだまだあると思いますので、みなさんも考えてみてください。

1学期の始業式の日、出水小学校の3つの合言葉について話をしました。覚えていますか？「聴き合い、学び合い、支え合い」です。「思いやりの心」をもって、「自分がされてうれしいことは、他の人にもしていきましょう」の気持ちで、この「聴き合い、学び合い、支え合い」に取り組んでいきましょう。そうするときと今年はすてきな年になりますよ。授業の場面で、生活の場面で、ぜひ、実行してください。

### おしらせ

- ◎ 4年2組担任の 菊永 春香 先生が産前休暇に入るため、1月より理科専科の 小川 茂樹 先生が4年2組の担任となります。それに伴い、1月より理科専科として 野口 幹夫 先生が着任いたします。